

大石 啓

Kei Obishi
Piano Recital

ピアノ・リサイタル

シリーズ第9回

ドイツ・ロマンの夕べⅡ “約束のトリオ”

with Matej Sonlajtner
Takahiro Ishibashi



ゲスト: マテイ・ツンライトネル(ヴァイオリン)

ゲスト: 石橋隆弘(チェロ)

Program

シューマン: 子どもの情景 作品15
R. Schumann: Kinderszenen, Op. 15 (1838)

メンデルスゾーン: ピアノ三重奏曲 第1番 ニ短調 作品49
F. Mendelssohn: Klavier-Trio Nr. 1 d moll, Op. 49 (1839)

ブラームス: ピアノ三重奏曲 第1番 ロ長調 作品8
J. Brahms: Klavier-Trio Nr. 1 H dur, Op. 8 (1891)

※曲目は都合により変更する場合がございます。

〈チケットお申し込み・お問合せ〉

電話 ■0548-32-5680 (Tel. & Fax.)

メール ■konzertieren014@yahoo.co.jp

*メール申込みは、上記のメールアドレスからの返信が受信できるように設定をしてください。

チケット取扱

リサイタル・シリーズ事務局及び下記の5店でチケットをお求めいただけます。

- すみやグッディ本店 054-253-6222 (呉服町)
- 文具・事務機の(株)ブンテン 0548-22-0313 (静波)
- 小山紙店 0548-52-0022 (波津本通り)
- ミュージックセンターひまわり 0548-52-1693 (波津)
- 池田 0548-22-0428 (谷の口)

4/11(木)チケット発売予定

注1) 前売券完売の場合は当日券販売はありません。

注2) 申込み後のキャンセルはできません。

2019
7/6 (土)

17:45 開場 / 18:30 開演 (ブレイク 18:15)

相良総合センターい〜ら

入場料: 指定 ¥3,500 一般自由 ¥3,000

学生自由 ¥2,000 (当日各500円増)

※小学1年生からご入場いただけます。

※学生チケットは小・中学生が対象で、自由席のみの扱いです(詳細裏)。

主催 ■K.O.リサイタル・シリーズ実行委員会

後援 ■牧之原市、吉田町、牧之原市教育委員会、吉田町教育委員会、
榛原高等学校同窓会、公益社団法人日本演奏連盟、
すみやグッディ株式会社

★東京公演 7/3 (水) スタジオ・ヴィルトゥオージ

私のリサイタル・シリーズは、ベートーヴェン時代の演奏会形式を踏襲し、毎回テーマを決め、この演奏家とこの作品を弾いたらどんなに素敵だろう、という思いで組んだプログラムをこれまでにお楽しみ頂きました。

第9回の今回は、第7回の際に取り上げ切れなかったドイツ・ロマン派の名曲を演奏します。愛らしい小品集で今なお魅了し続けるシューマンは、若きブラームスの才能を認め、世に知らしめた立役者でもあります。晩年のブラームスは、若き日の作品を未熟なものと感じ、その多くを自身の手によって破棄していますが、今回取り上げるくピアノ三重奏曲Op.8>だけは、よほどの愛着があったらしく、大幅に手を加えて後世に伝えられる事となりました。それは、若き日の初々しく荒削りでもあった作風と、晩年の深みを増した作風が同居する、結果として大変な名作難曲となりました。2004年の初自主リサイタルでは、このピアノ三重奏曲を演奏する予定でしたが、充実した内容の深さは、ブラームスの生涯を綴っているかのようで、当時の私には演奏不可能と判断してプログラムを変更致しました。その後、10年の歳月をかけて函館で初めて演奏し、その時のお客様の笑顔から手応えを感じ、今回のプログラムと致しました。静岡の皆様との15年越しのお約束を果たします。“約束の三重奏曲(トリオ)”をお楽しみください。大石 啓

Profile

大石啓さんはブラハ音楽院の私のクラスで数年学びました。彼がブラハに来た時、既に高度な技術、幅広いレパートリー、優れた音楽的理論や知識を持つピアニストでした。集中的に行ったレッスンの数年後、彼は特に古典派、ロマン派の作品において、曲の形式、様式、テンポなどの細かい感覚を習得し、芸術的人格を開発していきました。彼の演奏には、聴衆の心をつかむことのできる素晴らしい創造性、想像力があります。私は彼のコンサートが常に、特別なものであり、それは聴衆の皆さんを音楽の持つ世界に引き込むことになると信じています。



Miharu Rezek

ピアニスト、ブラハ音楽院教授ミハル・レゼク

大石 啓 (ピアノ)

吉田町出身。ルドルフ・ゼルキン氏の弾くベートーヴェンに感銘を受け、ゼルキン、ケンプ、ホロヴィッツ等往年の名演奏家の演奏法を研究する。武蔵野音楽大学にて大谷三千雄、アマデウス・ウェーバー・ジンケ、桐朋学園大学院大学にて岩崎淑、チェコ国立ブラハ音楽院にてミハル・レゼク諸氏に師事、深澤亮子、津田真理、ヘルムート・ブラウス、ルース・スレンチンスカ、ノルベルト・ヘラー諸氏にも師事した。

第4回大阪国際音楽コンクール第2位、第26回ヴァルセミア国際コンクール(イタリア)にてディプロマ賞等受賞。2007年から取り組んだホロヴィッツ作品の探譜演奏はCDにも収録し、中でもムソルグスキー/ホロヴィッツ編曲の《組曲「展覧会の絵」》はインターネットサイトでも紹介された。2008、9年イタリア・グッピオ音楽祭参加。2010年堺武弥氏指揮、掛川管弦楽団とベートーヴェンのピアノ協奏曲第5番「皇帝」を共演。2011年ブラハ・パルフィー宮殿にてリサイタルを開催。室内楽奏者としての信頼も得て、アンサンブル・クレーのメンバーとしてピアノ三重奏(2012-2015、函館)、岩崎氏のリサイタル(2015、茨城)、マテイ・ソンライトネル氏のスイス3都市ツアー(2015、インターラッケン、ムルテン、ベルン)、アダム・ベホチアク氏のブラハ室内楽演奏会(2016、チェコ)等で共演。国内外の著名アーティストと共にベートーヴェン時代のコンサート・スタイルを再現したリサイタル・シリーズを主宰(2014年度は焼津市と共催)。クラシック音楽を解説とともにお届けする「おしゃべりクラシック・コンサート」(2018年は福岡でも開催、Mujikapia主催)、「公開リハーサル」、小さなお子様もコンサート・ホールにて生の音楽をお楽しみ頂く「親子で楽しむコンサート」を開催し、地域のクラシック音楽の普及に務めている。学校、幼稚園への出前コンサートに多数出演、吹奏楽部との共演等、教育機関への協力も地域を問わず行う(静岡、東京、神奈川、群馬、佐賀、函館等)。カワイ表参道主催の講座「名曲を弾く・知る・聞く」～今更、聞けない有名曲の弾き方～にて講師を務め、「作曲家・ピアニストについて広い知識を有し、解りやすい解説に定評がある」と紹介された(2015)。

現在は作曲家の自筆譜、初版譜、当時の習慣を研究した演奏活動を行うとともに、啓音塾を主宰し後進の指導にあたっている。CDの解説(キングインターナショナル)、コンサート・プログラム解説の執筆も演奏家の依頼を受け行なう。公益社団法人日本演奏連盟会員。

マテイ・ソンライトネル (ヴァイオリン)

スロヴァキア共和国ニトラ出身。シュテファン・マダリ氏のクラスにてヴァイオリンを始める。その後、チェコ共和国のブラハ音楽院にてインドゥジフ・バズデラ氏に、スイス連邦のベルン芸術大学にてモニカウルバニアク氏師事。同大学修士課程にてティアノヴァ・ヤン氏に師事し、2018年修了。国内外のコンクールにてソリスト及び室内楽奏者部門で受賞。アデリア・オブレアン、フリードマン・アイフォン、エリザベト・クフェラットウ、ジャコモ・テジーニ、スニョン・カン、ステファニー・ペアー各氏のマスタークラスにて研鑽を積む。現在、フリーランスのヴァイオリニストとしてスピラ・ミラピリス、ベルン室内管弦楽団、モリツブルク祝祭芸術管弦楽団などのヨーロッパのオーケストラで演奏し、また室内楽奏者としても活躍している。

石橋 隆弘 (チェロ)

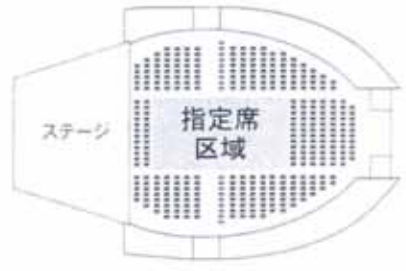
16歳よりチェロを始める。武蔵野音楽大学卒業。同大学卒業演奏会に出演。桐朋オーケストラアカデミーにて研鑽を積む。2001年セントラル愛知交響楽団に入団。オーケストラでの演奏活動の他、室内楽リサイタル等多数出演。チェロを内田勝彦、勝田聡一、北本秀樹の各氏に師事。室内楽をクレメンズドル、藤原浜雄、エレオノーレ弦楽四重奏団、東京クワルテット、藤井一興の各氏に師事。ザ・ストリングス名古屋、寺田弦楽四重奏団各メンバー。愛知県立明和高等学校音楽科、名古屋芸術大学非常勤講師。

●学生チケットについて

地元の学生の皆様にもお聞き頂きたく、今回から学生チケット(券)をご用意致しました。この券は、小学生から中学生までの方を対象と致します。高校生以上の方は一般自由または指定券を、小・中学生の方でも指定席をご希望の場合は、恐れ入りますが、指定券をお求め下さい。

●指定席について

右記会場図の144席を指定席と致します。座席毎に取扱店が異なります。



牧之原市須々木140番地 ※静鉄バス相良営業所より徒歩10分